

一橋大学大学院 経営管理研究科 経営管理専攻
経営学修士コース 経営分析プログラム
2025 年度 入学前推奨図書リスト

一橋大学大学院経営管理研究科
経営管理専攻 MBA 教務委員会

合格おめでとうございます。一橋ビジネススクール（経営分析プログラム）における2年間を有意義に過ごして頂くため、ご入学にあたり以下の図書を推薦致します。それぞれご確認ください。

●全ての入学者の皆様へ

会計やコーポレートファイナンスの領域では、未修者と既修者の間で理解度に大きな違いが生じます。これらの領域について、学んだことがない方や自信がない方は、入学前に次の書籍をよく読んで、入学後の講義に臨んで下さい。

〔財務会計関連〕

國貞克則『増補改訂 財務3表一体理解法』朝日新聞出版（朝日新書）

会計は事業の言語です。なじみのない方には非常に難しくうつることもあります。その体系さえわかれば、理解は一気に進み、企業経営を分析・評価する上でのツールとして使いこなすことができます。本書はそうした会計の体系をわかりやすく説明した良書といえます。

これまで会計になじみのない方は、第1章から第3章までを繰り返し読んでいただければ、入学されてから講義にキャッチアップしやすくなるかと思えます。

『大原で合格る 日商簿記3級』中央経済社

大手企業の多くは、入社してから数年以内に簿記3級を取得することを求めています。MBA コースに入学されてより高度な企業経営に関わる学問を学んでいただく以上、そうした基礎知識については、大学院入学前に修得しておいてもらいたいと考えています。また財務会計の講義において、知識レベルを確認するため、簿記の課題を出させていただき、中間試験などで修得レベルを確認する予定です。必ずしも上記のテキストである必要はありませんが、比較的わかりやすく書いているテキストで入学前に学習しておくことをお勧めします。

〔コーポレートファイナンス関連〕

砂川伸幸『コーポレートファイナンス入門〈第2版〉』日本経済新聞出版社（日経文庫）

企業財務を勉強したことがない人は、事前に読むことを勧めます。一度目は1ページ目から最後まで、内容を理解できなくても、読み飛ばしてください。二度目に熟読して、理解を深めるようにしてください。

●導入ワークショップ（春夏学期）・基礎ワークショップ（秋冬学期）受講予定者の皆様へ

本多勝一『＜新版＞日本語の作文技術』朝日新聞出版（朝日文庫）

句読点の打ち方や接続詞の用法などの細かな点について詳しく説明されている著名な本です。きちんとした日本語の文章を書くスキルは自明視されているにもかかわらず、実際には基礎ができていないレポートを数多く見かけます。ワークショップでは毎回ある程度長いレポートの提出が義務づけられており、レポートでは内容や構成の不備はもちろん文法や語法の誤りについても厳しく指摘されます。細かいことについて後で悩まないためにも、必ず入学前に本書を通読することによって作文技法の基本を頭に「たたきこんで」おくことをお勧めします。簡潔にして的確な文章を書く力は一生の宝となります。

倉島保美『論理が伝わる 世界標準の「書く技術」』講談社（ブルーバックス）

レポートや論文において論理的な文章を執筆するためには、パラグラフ・ライティングの技法を身につけることが必要不可欠です。パラグラフ・ライティングとは、共通の内容で括れるものは一つのまとまり（パラグラフ）とし、各パラグラフの先頭に最も重要な文（トピックセンテンス）を示し、それ以後にその補足説明のための文（サポートセンテンス）を示す技法であり、レポートや論文を書く上での世界共通のルールです。本書はパラグラフ・ライティングの技法を解説した本です。

伊藤公一朗『データ分析の力：因果関係に迫る思考方法』光文社新書

近年、情報通信技術の発展により、ビッグデータに象徴される大量のデータが、比較的容易に入手可能となっています。これに伴い、データ分析の力が、専門職（データ・サイエンティスト、データ・アナリスト）以外の多岐にわたる職種においても求められ始めており、例えば、経験や直感ではなくデータや合理的根拠をもとに政策を立案する EBPM（Evidence-Based Policy Making, 証拠に基づいた政策立案）が、多くの組織において浸透し始めています。データ分析においては、相関関係と因果関係を識別する因果推論の考え方を身につけることが基本となり、これは、ワークショップ・レポートの執筆等、自身の研究を進めるうえでも有用です。本書は、データ分析の基本となる「因果関係の見極め方」について、数式を使わずに具体例を用いて解説したデータ分析の入門書です。

●留学生演習Ⅱ（秋冬学期）受講予定者（外国人特別選考合格者）の皆様へ

石黒圭『正確に伝わる！ わかりやすい文章の書き方』日本経済新聞出版社

苅谷剛彦『知的複眼思考法』講談社（+α文庫）

入学前には、上記2冊の序章から第2章までを必ず読んでおいてください。春夏学期の日本語集中講義へのよき導入にもなるはずです。

本多勝一『＜新版＞日本語の作文技術』朝日新聞出版（朝日文庫）

倉島保美『論理が伝わる 世界標準の「書く技術」』講談社（ブルーバックス）

苅谷剛彦『知的複眼思考法』講談社（+α文庫）

入学後、「留学生演習Ⅱ」の開講（9月）までに、上記の3冊全体を読んできてください。ただし最初の半年間は日本語をブラッシュアップするための特別な期間です。その期間中に少しずつ読み進めてもらうことを想定しています。

以上